



# 1 上諏訪駅周辺整備基本構想について

## 背景

諏訪市では、2021(令和3)年度に上諏訪駅から諏訪湖畔を結ぶ柳並線が開通し、2025(令和7)年度には諏訪湖スマートインターチェンジが完成しました。これらにより、上諏訪駅は、交通の結節点としての重要性がますます高まることが期待されています。しかしながら、東西駅前広場の使い勝手の悪さ、西口駅前広場から上諏訪駅(ホーム)へのアクセス、駅舎の老朽化等の課題があり、まちの玄関口としての機能を十分に果たせていない状況にあります。

こうした中、2023(令和5)年3月には、「上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョン(以下「未来ビジョン」という。)」を公民連携により策定し、上諏訪駅・駅前広場は、「多様な人やモビリティの結節点となるまちのエントランス空間として、日常利用からイベント利用まで様々な使い方が可能な場を創出することをめざす」と位置づけました。

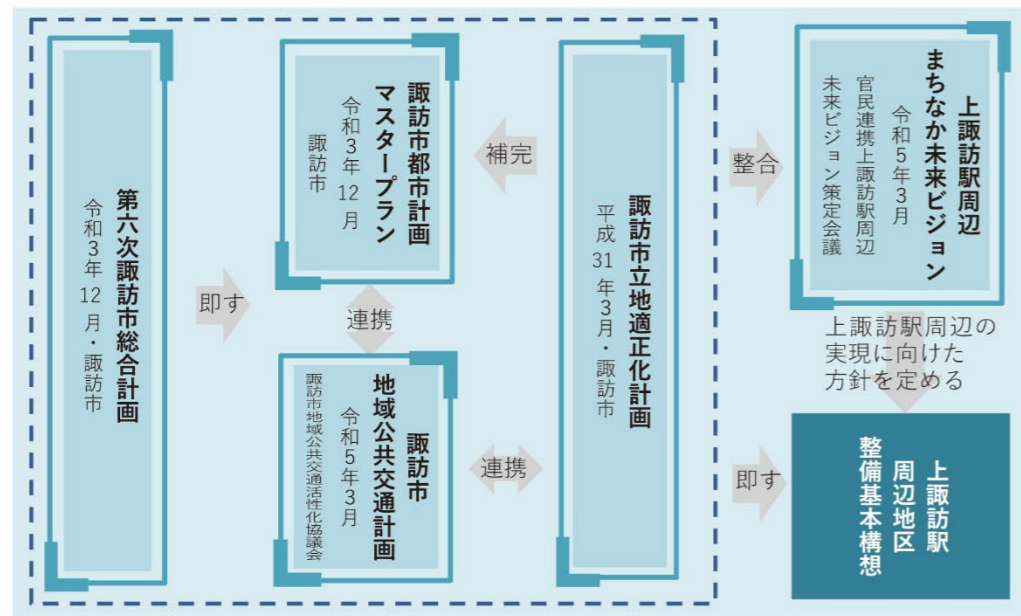
2024(令和6)年3月には、公民連携のエアプラットフォーム「上諏訪まちなか未来ビジョンエアプラットフォーム(以下「スワ・マチ・ミライ」という。)」も設立され、公民連携によるまちづくりが始動している状況にあります。

## 目的

交通の結節点、東西の往來のしやすさの向上、滞留・滞在の場の創出等、まちのエントランス空間として望ましい駅周辺へと再生することをめざし、市民ワークショップや社会実験での市民ニーズを反映しながら、西口駅前広場の整備を念頭に置き、東西駅前広場や駅周辺に導入すべき施設や機能を検討し、整備方針を定めることを目的に、上諏訪駅周辺地区整備基本構想(以下基本構想)を策定します。

## 位置づけ

基本構想は、「第六次諏訪市総合計画」「諏訪市都市計画マスタープラン」「諏訪市地域公共交通計画」「諏訪市立地適正化計画」に即して策定するものです。また、基本構想は、前項で説明した「未来ビジョン」で目指す上諏訪駅周辺(上諏訪駅・駅前広場)の実現に向けた方針を定めています。



上諏訪駅周辺地区整備基本構想の位置づけ

## 対象区域

諏訪市諏訪一丁目、大手一丁目地内における、諏訪市、諏訪市土地開発公社、東日本旅客鉄道株式会社の3者が所有する土地約4.3haを対象区域としています。



## 進め方と検討スケジュール

基本構想検討にあたっては、ワークショップ等による「市民等の視点」、公民連携プラットフォームであるスワ・マチ・ミライ等との連携による「公民連携の視点」、検討委員会での「専門的な視点」の三位一体の視点で検討を行いました。

なお、今後は本構想に基づく西口駅前広場整備を行い、2030(令和12)年度末の供用開始を目途に進めていきます。



三位一体の検討体制イメージ

## 2 基本構想を検討するにあたり必要な視点

現況の特性と問題点を踏まえ、基本構想検討にあたり必要な視点を整理します。

項目	特性 (活用すべき視点)	問題点 (改善すべき視点)
駅利用・立地	<p><b>【駅利用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上諏訪駅は、長野県第3位の主要観光地の駅として「県内外の来訪者」や、定期利用率が高いことから「高校生等の通学・通勤者」利用が想定</li> </ul> <p><b>【立地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区域周辺は、「住宅」をメインに、徒歩圏内に「諏訪湖(湖畔公園、諏訪湖サイクリングロード)」や「上諏訪温泉」をはじめとする「観光施設・資源」の他、「歴史、商業施設」等の「様々な特性をもつエリア」をもつ</li> <li>区域は、「様々な特性を持つエリア」をつなぐ中心に位置</li> <li>区域東側には、東西自由通路で連絡する商業・公共等の複合施設「アーク諏訪」が立地</li> </ul> <p><b>必要な視点</b> 公共交通の利用促進と、観光施設・資源や各エリアを結ぶ「まちの中心」、「多様な人が集まる拠点」としての役割</p>	<p><b>【立地】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「諏訪湖」「上諏訪温泉」の他、高島公園(高島城跡)や昔ながらの歴史を感じる街なみや酒蔵等の「観光施設・資源」が駅から徒歩圏に分散立地するなかで、滞在や来訪の中心となるエリアが分かり難い</li> </ul>
土地利用・機能	<p><b>【土地利用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区域内の土地は、公的な機関3者(諏訪市・土地開発公社・東日本旅客鉄道株式会社)が所有しており、土地の有効活用がしやすい</li> </ul> <p><b>【機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区域内に緑豊かで、市民活動で活用される柳並公園が立地</li> <li>区域東側には東西自由通路で連絡する「アーク諏訪」内に、子育てや高校生の居場所となる公共施設「すわっチャオ」が立地</li> </ul> <p><b>必要な視点</b> 土地の有効活用・機能分担を図り、市民が求める多様な使い方・過ごし方が可能な空間を試行しながら柔軟に確保</p>	<p><b>【土地利用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場、駅舎、駅関連施設、法務局の他は、区域面積約23%が駐車場で低未利用となっている</li> </ul> <p><b>【機能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民に身近な公園、オープンスペースが不足</li> <li>公民連携による活動が推進されるなか、市民ニーズが高い自由に活用可能な空間や交流に供する空間が不足</li> </ul>
道路動線	<p><b>【自動車ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な道路ネットワークの整備により諏訪湖スマートインターチェンジから駅までの自動車のアクセス性向上</li> </ul> <p><b>【歩行者ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区域周辺は、歴史的な道路やヒューマンスケール*で趣きある道路も多い</li> </ul> <p><b>必要な視点</b> 広域的な「交通結節点」としての役割の他、市街地への安全でスムーズな誘導や、回遊の起点となる役割</p>	<p><b>【自動車ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>諏訪湖スマートインターチェンジ開通後のまちなか自動車交通量の増加が懸念</li> </ul> <p><b>【歩行者ネットワーク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウォークアブルを推進するなか、駅から特徴ある周辺エリアへのアクセス動線が不明瞭</li> </ul>
交通施設	<p><b>必要な視点</b> 交通事業者と連携強化を図り、東西敷地規模やモビリティ変化・担い手不足を考慮した適正な機能配置、アクセス改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道により東西が分断されており、東西で施設規模、機能に偏りがある</li> <li>東口は、朝夕の一般送迎が多く、自動車、歩行者ともに交通量が多く、交錯が見られる</li> <li>西口に改札口がなく、東西連絡は改札外の東西自由通路のみであるため東西のアクセスが不便</li> <li>周辺道路状況や新たなモビリティ需要の変化への対応</li> <li>交通事業者の担い手不足</li> </ul>
観光	<p><b>必要な視点</b> 諏訪湖に近いポテンシャル活用の他、来街者のピークを踏まえた動線確保や適切な機能配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諏訪湖花火大会が市内行事で一番の集客力があるが、駅や駅から諏訪湖までが混雑(通常時の約46倍)</li> <li>観光拠点等の案内が不足</li> <li>観光拠点等までの二次交通が不足</li> </ul>
景観資源	<p><b>必要な視点</b> 市民が誇る諏訪の魅力(諏訪湖、温泉、歴史・自然資源)を活かすとともに、分かりやすい情報発信や適切な維持管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>諏訪の魅力の情報発信や案内の不足</li> <li>柳並公園を中心に区域全体の鳥のフンによる、衛生的、景観的な問題</li> </ul>

## 【特性と問題点図】



歩行空間はあるが、東口より利用は少ない

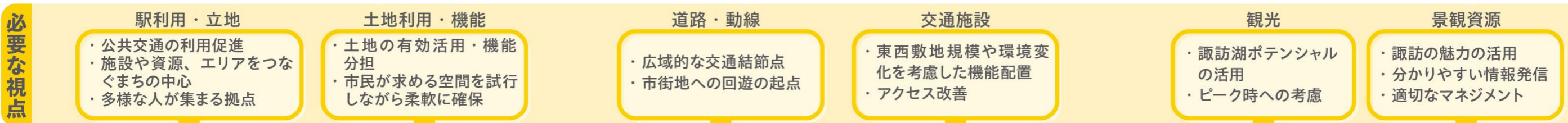
\*ヒューマンスケール：

道路幅や建物の高さ、視界に入るもののサイズが歩く人の視線の高さやスピード感にあわせて、落ち着く規模(上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョンより引用)



### 3 ミライ像(将来像)とミライ方針(基本方針)

「基本構想を検討するにあたり必要な視点」を踏まえ、上諏訪駅周辺地区がめざす「ミライ像(将来像)」と、その実現に向けた「ミライ方針(基本方針)」を以下に整理します。



#### ミライ像

## “人”と“諏訪(暮らし、活動、資源)”をつなぐ玄関口

上諏訪駅は、諏訪湖や温泉街、高島城や酒蔵等の市の資源の中央部に位置し、市民や高校生の交通の拠点として、東西市街地の往来の場としても利用されています。また、諏訪地域が誇る他にはない資源「諏訪湖」の玄関口として多くの観光客も訪れる駅です。

諏訪に関わる人と、諏訪での暮らしや様々な活動、多くの資源をつなぐ玄関口として、諏訪の魅力を感じられる場所をつくることで、諏訪の各エリアや各分野での公民連携まちづくりの起点としても機能させていくことを目指します。

#### ミライ方針

### 01 だれもが気軽に立ち寄れる・居られる・使える場所を目指します

#### 1-1 自由で使いやすいオープンな広場と快適な滞在空間の創出

- 市民や来訪者が、駅利用や通行以外にも多目的に自由に使える空間・場の創出
- 市民や来訪者の快適な滞在をサポートする機能・施設の充実と積極誘致
- 災害時やイベント時にも配慮した機能・施設の配置



#### 1-2 段階的な整備に合わせたフレキシブルな土地利用の実現

- 駅東西間の役割分担、利用者の利便性に配慮した適切な機能・施設の配置を試行しながら柔軟に確保
- 土地所有者との連携による、駐車場等の機能集約や土地の有効活用
- 社会状況や技術・気候の変化にも柔軟に対応できる、滞在を楽しめる環境や仕組みづくりを、公民連携により推進



#### ミライ方針

### 02 暮らし・観光・ビジネスにおける交通のハブとなる場所を目指します

#### 2-1 駅で分断されない一体性の確保

- 移動だけにとどまらない自由通路
- 西口から駅へのアクセス性の改善
- まちなかへの歩行を促す動線や空間の創出



#### 2-2 利用特性や立地特性に応じた交通空間の再編

- 施設立地や道路状況、東西の敷地規模等を踏まえた交通空間の改善
- 利用者属性や多様な交通手段へのニーズを想定した空間配置
- 利用者の安全性・利便性に配慮した歩行者動線の改善



#### ミライ方針

### 03 諏訪の魅力が見える・感じられる場所を目指します

#### 3-1 諏訪の魅力が見える・感じられる景観づくり

- 他にはない諏訪の魅力「諏訪湖」や「山なみ」等を感じられる場の創出
- まちの資源を活かした景観づくりと一体的な景観デザイン



#### 3-2 まちなかへいざなう資源のショーケースとなる場づくり

- 諏訪大社や御柱祭、ものづくり、味噌や酒蔵などの伝統文化を体感・体験できる資源のショーケースとなり、まちへの回遊を誘発する場づくり
- 諏訪湖や温泉・高島城・立石公園等の諏訪の魅力や施設、ガイドやまちづくり活動についての情報発信の充実化
- 目的地やまちの資源へとスムーズに誘導する案内サインの設置



※各ミライ方針のイラストはイメージです。





## 5 ミライに向けた段階的な事業展開

駅施設に関する東日本旅客鉄道株式会社の提案・意向や法務局の移転状況等を踏まえ、段階的に整備を進めます。また、整備に先立ち、公民連携により試行や検討を繰り返すことで市民等の関わり代を増やし、まちなかでの活動や事業との相乗効果につながる駅周辺へと改変していくことを目指します。

### 【事業展開スケジュール（案）】

年度	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19	2038 R20	2039 R21	2040 R22	2041 R23	2042 R24	2043 R25	2044 R26	2045 R27	2046 R28											
主な動き	●諏訪湖 SIC 開通																リニア中央新幹線開通(時期未定)						国道20号諏訪バイパス開通(時期未定)										
区域内の整備	駅周辺地区 基本構想		西口駅前広場整備 基本計画			西口駅前広場 設計・工事			西口駅前広場 一部暫定供用			西口駅前広場 供用開始										現自由通路(築43年) 現駅舎(築85年※大部分が耐震補強済)						現自由通路(築53年) 現駅舎(築95年)					
			法務局敷地調整			法務局敷地部分 工事			広場空間の本格活用 ⇒誰もが気軽に立ち寄れる・居られる・使える場所へ																								
区域内の活用・試行	自由に使える広場機能 構想策定に向けた試行		使い方・過ごし方の試行			広場活用のためのルールづくり、使い方の仕組みづくりの試行、検討			暫定広場として活用										広場の活用														
									暫定チャレンジショップの設置										施設の活用														
			資源のショーケース機能 資源のショーケースのニーズを確認/地元事業者、商店、活動団体と連携し、施設入居者の発掘や運用方法を検討																														
	交通結節機能 交通再編に向けた試行																																

駅周辺での活動（企画・企画参加者）の拡大

まちなかでの活動やまちづくり事業との連携の拡大



※本事業展開は、現時点での検討に基づき設定したものであるため、次年度以降の交通量調査等の客観的データや技術的検証を踏まえて、機能・ゾーニングを精査するとともに、今後の社会環境変化や民間事業者及び市民のニーズに応じて改めて検討を行い実現させていくこととします。

## 6 基本構想の実現に向けた今後の進め方

基本構想の実現に向けては、交通事業者や民間事業者、周辺の事業者やお住まいの方、市民の皆さまなど、多くの関係者の協力と連携が不可欠です。そのうえで、必要となる今後の進め方について以下に整理します。

また、今後の検討や事業の進捗に伴い、更に多くの課題が生じることも想定されます。基本構想でめざすミライ像・ミライ方針を共通目標とし、発生した課題に関係各者が協力して取組んでいくことが重要です。

### 公民連携による 検討・取組の推進

完成後の持続的な活用・運営に向けた検討・取組の推進

- ・自由に使える広場機能
- ・資源のショーケース機能

### 事業化に向けた 検討の深度化

- ・客観的データや技術的検証に基づく検討
- ・関係各者との調整・協議
- ・条件の変化に併せた事業展開の更新
- ・検討に伴い生じる新たな課題への適切な対応

### まち全体への波及と 取組の連携

- ・周辺施設や各エリアでのまちづくり等との相乗効果の発揮
- ・隣接地での再編整備や周辺まちづくりへと波及させていくことに留意したデザインや機能等の検討

### 時代の潮流や変化への フレキシブルな対応

- ・ゆとりある空間形成
- ・既存施設の更新にかかる適切な見直し検討

## 上諏訪駅周辺地区整備基本構想(案)

### 概要版

令和8年3月

【発行】  
諏訪市

諏訪市 建設部 まちづくり整備課まちづくり整備係  
〒392-8511 長野県諏訪市高島 1-22-30  
TEL 0266-52-4141(内線 272) machiseibi@city.suwa.lg.jp